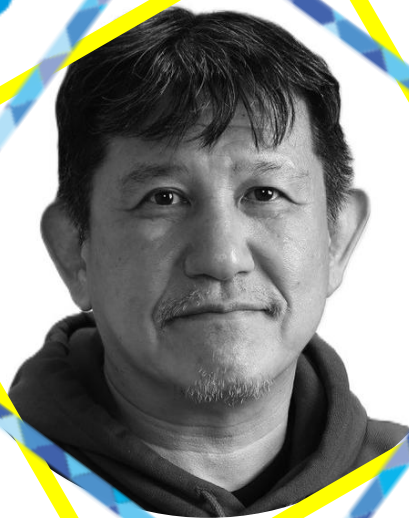


スペシャル対談



絵本作家



偕成社編集部

多屋 光孫



藤田 隆広

～ 絵本『べんじょそうじ』ができるまで ～

10月24日 土

14:00～15:30

(開場時間 13:45)

講演会

令和8年度 図書館まつり企画

「絵本作家・多屋光孫×偕成社編集部・藤田隆広
～絵本『べんじょそうじ』ができるまで～」

会場

和光市図書館本館 会議室

定員

40名(先着順)

対象

中学生～大人

申込方法

10月1日(木) 10時よりメール、
電話、本館窓口(事務室)にて受付

申込はこちら



メールの場合、件名を「図書館まつり講演会」とし、本文に

①参加者全員の氏名(ふりがな) ②お住まいの市区町村

③電話番号 を明記の上、h0301@city.wako.lg.jpまで送信
してください。



べんじょそうじ

濱口 國雄//詩 多屋 光孫//絵
偕成社 2026.5



和光市図書館

WAKO CITY LIBRARY ©和光市

〒351-0114

埼玉県和光市本町 31-1

☎048-463-8723

今年の図書館まつり講演会は、絵本作家・画家の多屋光孫さんと、偕成社編集部の藤田隆広さんをお招きし、絵本を作るうえでの思いや絵本の魅力を伺います。

詩人・濱口國雄によって70年以上前に書かれた詩「便所掃除」。その詩を絵本化したのが、『べんじょそうじ』です。藤田さんと詩の出会いから、絵本づくりに至るまでのお話、多屋さんとの出会い、そして絵本として出版されるまでの試行錯誤や過程を、ご紹介いただきます。エネルギーでユーモアたっぷりなお二人による、スペシャル対談です。

講師紹介



多屋光孫 たや みつひろ

和歌山県田辺市生まれ。絵本・紙芝居作家。多様性を主テーマに制作。『こうして、ともに いきている』は全国学校図書館協議会「えほん50」選定、2026年ボローニャ国際ブックフェア Japan Ragazzi Selection 選出。『だかし屋のおっちゃんはおばちゃんなのか?』で第15回ようちえん絵本大賞受賞。近作に『べんじょそうじ』（偕成社、詩：濱口國雄）、紙芝居『オバンケせんせいの おばけびょういん』（童心社）がある。

藤田隆広 ふじた たかひろ

1974年東京の新宿生まれ、町田の鶴川育ち。テレビのAD、立川のけやき出版をへて2003年偕成社入社。主な担当作品に『日本の川たまたがわ』『べんじょそうじ』『のっぽのスイブル155』『やとのいえ』『小惑星探査機「はやぶさ」大図鑑』、星野富弘作品など。子どもの本の仕事をするきっかけは、15歳下の妹に絵本を読んでやっていたこと、があるかもしれない。長く水球のゴールキーパーをつとめ、いまはランナー。東京・武蔵野市在住。



絵本紹介



べんじょそうじ

濱口 國雄 // 詩 多屋 光孫 // 絵 偕成社 2026.5

国鉄職員で詩人の濱口國雄による詩「便所掃除」を絵本にしました。駅のトイレ掃除の過酷さや、ひたむきに働くことの尊さ・美しさをうたった、70年以上前の名詩です。多屋光孫さんによる、力強く、ユーモアに富んだイラストにより、濱口國雄の世界が、現代によみがえります。2026年5月に出版されたばかりの最新作。